

ジョヴァンニ・ソッリマ 来日公演 2027

～海は、すべての音楽へと続いている

イタリアが生んだチェロ界の鬼才、ジョヴァンニ・ソッリマ。
世界最高峰のチェリスト・作曲家として、
クラシック、バロック、民族音楽……と自在に疾走する！

本公演では、宮田大(cello)との2チェロによる
「チェロよ、歌え！」が遂に実現。
さらに新倉瞳(cello)、河野紘子(pf)を迎え、
ソッリマの音楽世界を存分に堪能するスペシャル・コンサート。

ジョヴァンニ・ソッリマ + 宮田大による2チェロ 「チェロよ、歌え！」

program

- with 宮田大・新倉瞳・河野紘子
Sollima《チェロよ、歌え!》Violoncello Vibrez!
- Sollima《大地の踊り》Terra Danza! ※
- with 宮田大・新倉瞳
Sollima《地球の大気》Terra Aria
- with 新倉瞳
Sollima《狩りのソナタ》The Hunting Sonata ※
- with 河野紘子
Sollima《ソナタ 2050 全3楽章》
Sonata 2050 (3 Movements) ※
- ソッリマ無伴奏チェロ
J.S. Bach《無伴奏チェロ組曲第1番》
Sollima arr.《愛しき女》
Moje Bukura More (アルメニア・シチリア民謡)
Casals《鳥の歌》Song of Birds
Sollima《ラメンタチオ〜嘆き》Lamentatio

(演奏曲目は変更の可能性があります。)

※日本初演



宮田大



新倉瞳



河野紘子

©黒柳悠人

Giovanni Sollima

4月29日(木・祝)

14時開演 (13:30開場)

全席指定(税込)◎S/8,900円 A/7,800円 (U-25/3,500円)

チケット発売◎2026年11月10日(火)

イープラス <https://eplus.jp/>

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

※託児サービスをご利用いただけます(要予約)。【託児のお申し込み】イベント託児・マザーズ 0120-788-222

出演◎ジョヴァンニ・ソッリマ(cello)

ゲスト◎宮田大(cello) 新倉瞳(cello) 河野紘子(pf)

主催◎朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/プランクトン

協力◎(株)ワーナーミュージック・ジャパン、日本出版貿易株式会社、ナクソス・ジャパン

後援◎イタリア大使館、イタリア文化会館

招聘・企画・制作◎プランクトン <https://www.plankton.co.jp/>

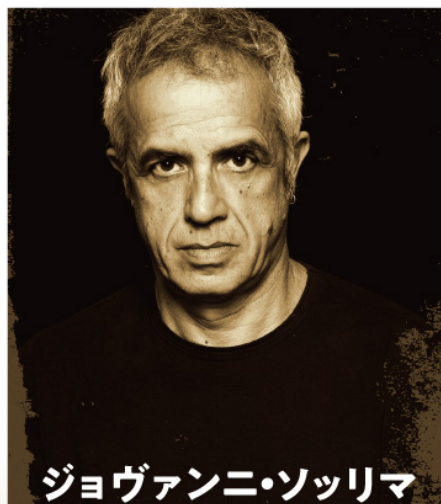




©Shobha

泣き、笑い、叫ぶ。
そして、語るのです。
——ジョヴァンニ・ソッリマ

チェロは歌い、



©Francesco Prandoni

1962年、イタリア・シチリア州パレルモ生まれ。イタリアを代表するチェリスト、作曲家。音楽一家に育ち、作曲家・ピアニストであった父エリオドロ・ソッリマの薫陶を受ける。パレルモ音楽院を史上最年少で優秀な成績により卒業後、シュトゥットガルト音楽大学およびモーツァルテウム音楽大学で、チェロをアントニオ・ヤニグロ、作曲をミルコ・ケレメンに師事。世界的指揮者リッカルド・ムーティから絶大な信頼を寄せられ、ソリスト、作曲家として数多くの公演に招かれている。これまでにマルタ・アルゲリッチ、クラウディオ・アバド、フィリップ・グラス、バティ・スミスら多彩なジャンルの巨匠たちと共演。クラシック、古楽、バロックからジャズ、ロック、即興演奏、さらには世界の民族音楽までを自在に融合した唯一無二の音楽世界を築いている。作曲家としても高い評価を受け、オペラ、交響曲、協奏曲、室内楽など数多くの作品を発表。代表作には、世界中のチェリストに愛奏される《チェロよ、歌え!》《ラメントチオ》《アローン》などがあり、ヨーヨー・マやマリオ・プルネロをはじめとする名チェリストたちの重要なレパートリーとなっている。2012年には「100チェロ」プロジェクトを創設し、チェロの新たな可能性を切り拓く活動を国際的に展開している。

ジョヴァンニ・ソッリマは、単なるチェロの名手ではない。

作曲家であり、即興演奏家であり、音楽という大海を自由に航海する旅人。その音楽は、「クラシック」という枠には収まりきらない。

故郷シチリアを抱く地中海は、古来、さまざまな民族や文化が行き交い、多彩な音楽を育んできた。ソッリマは、その豊かな響きを原点に、バッハやバロック、クラシックから、地中海やアルメニア、バルカンの民族音楽、さらには現代の音楽（ロック、ジャズ、エレクトロニクス）まで、ジャンルの境界を越え、ひとつの大きな流れとして紡ぎ出す。

そこに「クラシック」と「民族音楽」の境界はない。すべては「人間」と「自然」の営みから生まれた音楽としてひとつに繋がっている。

本公演では、宮田大との2チェロによるソッリマの代表曲「チェロよ、歌え!」の共演がついに実現! 新倉瞳（チェロ）とは18世紀イタリアの作曲家コスタンツィの作品に触発されて生まれた「狩りのソナタ」を演奏。当時の狩りを思わせる躍動感と自然の気配を、現代の感性で鮮やかに甦らせる。また、ベートーヴェンの未完のソナタやバッハの《BWV 998》などを素材にして独自の発想で作曲した意欲作「ソナタ2050」をデュオで披露する。今回の共演曲のうち、「チェロよ、歌え!」を除く楽曲は、いずれも日本初演。ソッリマの創造性あふれる新たな世界に出会える貴重な機会となる。

無伴奏チェロでは、J.S.バッハ「無伴奏チェロ組曲」をはじめ、ソッリマ「ラメントチオ〜嘆き」、アルメニア・シチリア民謡「愛しき女」、カザルス「鳥の歌」等、多彩な作品を披露する。

Giovanni Sollima

Japan Tour 2027

宮田大
(チェロ)



ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人初優勝を果たし、出場した全てのコンクールで優勝歴を持つ。ジュネーヴ音楽院およびクロンベルク・アカデミー修了。倉田澄子、フランス・ヘルメルソンらに師事。国内外の主要オーケストラや欧州の名門と共演を重ね、小澤征爾をはじめ多くの音楽家から高く評価され、国際的にも活躍。国際コンクール審査員や講師として後進育成にも力を注ぐ。本年、自身の公演でジョヴァンニ・ソッリマ作《チェロよ、歌え!》を演奏。

新倉瞳
(チェロ)



幼少期を米独で過ごし8歳よりチェロを始める。桐朋学園大学を首席卒業後、スイス・バーゼル音楽院修士課程を修了。国内外のコンクールで受賞し、アルバムも多数。現在はスイスのカメラータ・チューリヒのソロ首席チェリストとして活動。ソリスト・室内楽奏者として国際的に活躍、近年はクレズマー音楽や民族音楽にも造詣を深め、世界中の音楽祭に招かれ、ワークショップやレクチャー・コンサートも積極的に行なっている。

河野紘子
(ピアノ)



桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科修了。声楽・器楽を中心に幅広いアンサンブルに定評があり、小林沙羅、波多野睦美、廣津留すみれ各氏をはじめ多くの演奏家のリサイタルのパートナーを務める他、作家林真理子氏と共にお届けする「マリコとオペラ」、HIMARI氏&吉田恭子氏によるデュオコンサート、宮田大氏&辻本玲氏による2CELLOS&PIANOの各シリーズなど多くのコンサートに出演している。

©黒柳悠人

海風のように、自由に駆け巡り、歌うチェロ。

ジョヴァンニ・ソッリマ来日公演2027

4月25日(日) 所沢市民文化センター、他、東京、横浜、大阪・堺公演を予定。都内オーケストラとの共演あり。

<http://www.plankton.co.jp>